

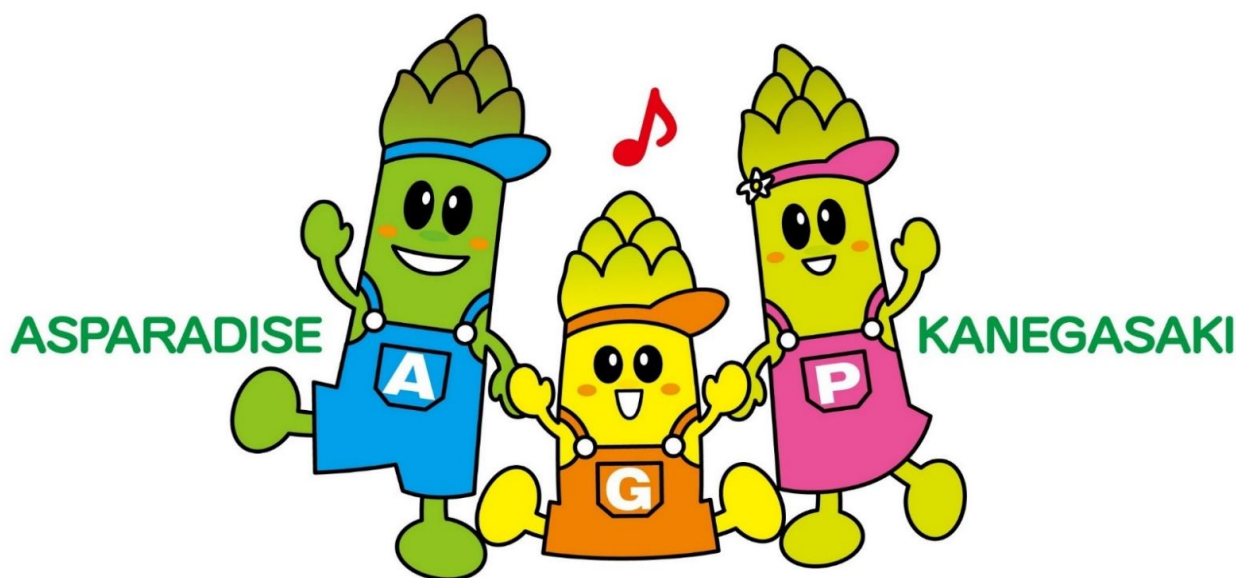


®環境省
エコアクション21
認証番号 0009433

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2024年7月～2025年6月

発行日 2025年10月15日



環境にやさしいモノづくりを目指す！

中通貴金属工業株式会社

はじめに

中通貴金属工業株式会社は全社員と共に地球環境保全並びに持続可能な社会の構築推進を目指しており、弊社の事業を通しこの具現化に向けては、エコアクション21環境経営システムの運用が最適の手法であると考えております。

エコアクション21環境経営システムの運用も11年目を迎え、会社の更なる体質強化を図る為に重点テーマと実効の大きなテーマに絞り込んだ活動を進め、これまで以上に持続可能な社会への参画・貢献を果たす為に邁進してまいります。

目 次

目 次	P2
環境経営方針	P3
会社概要	P4
弊社へのアクセス	P5
事業概要	P6
取組の実施体制・役割権限	P7
中長期の環境目標	P8
活動取り組み結果と自己評価	P9
環境活動計画・実績まとめ表	P10
今後の取り組み	P11
環境関連法規等のとりまとめ	P12
その他の活動	P13
代表者による全体の評価	P14

環境経営方針

環境理念 中通貴金属工業株式会社は全従業員と共に環境に配慮した企業活動を通して
持続可能な社会の構築への一翼を担い、更に一層、地域の信頼に応えるべく
環境経営企業となるよう、日々努力を致します。

行動指針 弊社は、主力事業である貴金属材料等の溶解、押出、伸線、異型条加工等の
全ての事業活動において、以下の環境活動に取り組みます。

1: 環境負荷低減活動では、以下の重点施策に取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②電気使用量の削減
- ③水使用の削減
- ④グリーン購入・他品種の試作、量産品製造
- ⑤化学物質、薬品の適正管理と使用量の削減

2: 環境負荷の低減活動は、経営における課題とチャンスをつまえて事業年度毎に
具体的な施策を作成して進捗確認を行いまして継続的改善を図ります。

3: 事業活動に係わる環境関連法規等を遵守します。

4: 弊社の全従業員及び関係者に周知し、また地元、周辺地域との
コミュニケーションを通じて地域社会との共生を図ります。

上記の項目について環境目標・経営計画を定め、環境経営システムを確立し、
継続的な改善と汚染の防止に努めます。

2025年 7月1日

中通貴金属工業株式会社

代表取締役社長 及川 望

会社概要

会社名： 中通貴金属工業株式会社

代表者： 代表取締役 及川 望

設立： 1972年10月19日

資本金： 3,000万円

住所： 〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根中ノ町6番地

連絡先： TEL: (0197)44-3704
FAX: (0197)44-5273
E-mail: nkk@nakadouri.jp

事業内容： ・リン銅ロウ、銀ロウ製品の一貫生産（熔解、押出、伸線、圧延）
・非鉄金属材料の切削加工（異型条）

事業規模：

指標	単位	対象期間				
		(2020年 7月～ 2021年 6月)	(2021年 7月～2022年 6月)	(2022年 7月～2023年 6月)	(2023年 7月～ 2024年 6月)	(2024年 7月～ 2025年 6月)
従業員数	人	28	26	28	27	26
売上高	百万円	1,033	1,575	1,560	1,380	1,732
床面積	m2	4,760	4,760	4,760	4,760	4,760
生産高	百万円	1,033	1,575	1,560	1,380	1,732
生産量	t	436.7	482.5	312.2	491.3	366.1

毎事業年度： 7月～6月

環境管理責任者： 環境管理責任者 及川 望

特記： エコアクション21ガイドライン2017年版に準拠して運用
同活動を弊社事業年度に連動させ運用

対象範囲： 全組織、全活動を対象とします。

弊社へのアクセス

所在地 〒029-4503
岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根中ノ町6番地

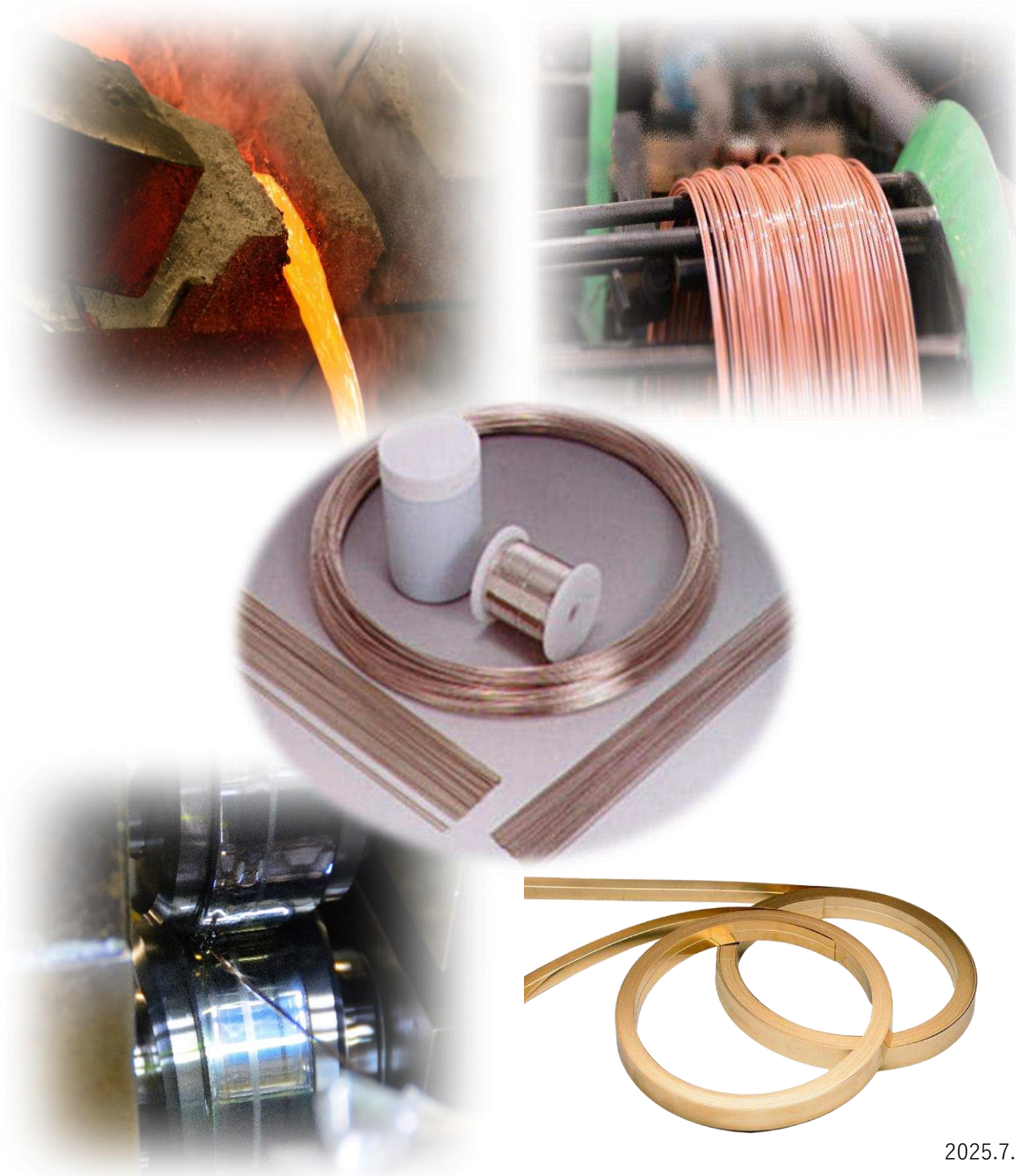
JR東日本
東北新幹線「水沢江刺駅」より車で20分
東北本線「金ヶ崎駅」より車で5分

NEXCO東日本
東北自動車道「水沢IC」より車で10分

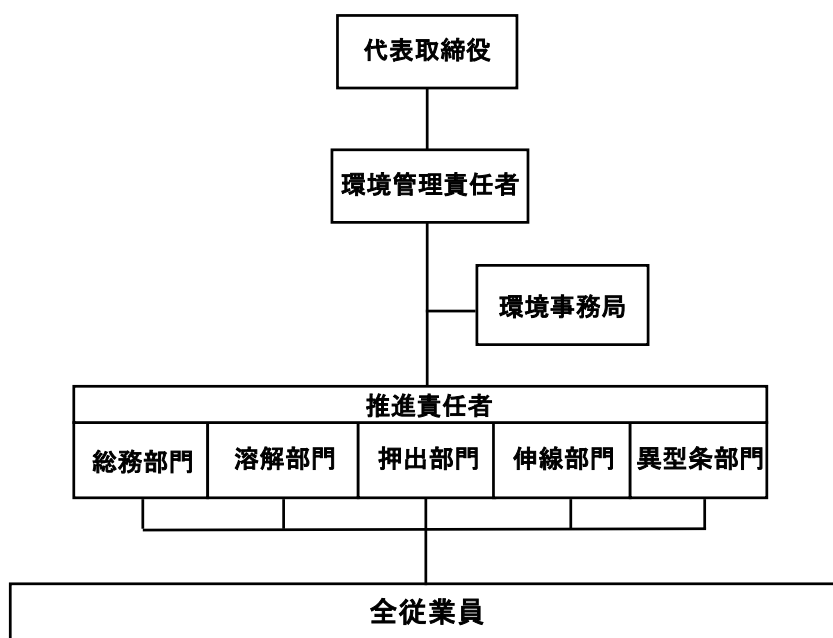


事業概要

リン銅ロウ、銀ロウ製品の製造（熔解、押出、伸線、圧延）
加工屑を使用した銅合金、銀合金製品の作成
金属接点用の貴金属の切削加工



取組の実施体制・役割権限



役割責任権限一覧

役割	責任及び権限
代表取締役	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題とチャンスを整理し、明確にする。 2. 環境方針の制定・誓約をする。 3. 実施体制を構築する。 4. 取組み状況の評価と見直し、必要な指示をする。 5. 環境経営資源を確保する。 6. 全体の取組状況の見直しに必要な情報を収集する。
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表者に代わってのE A 2 1の構築運用管理を行う。 2. 目的・目標一覧表及び環境目標計画表の確認。 3. 環境関連法規等の取りまとめの承認。 4. E A 2 1の活動実施状況を代表者に報告する。
環境事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の事務的業務を担う。 2. 遵法教育の実施及び外部からの環境苦情等の受付を行う。 3. 適用法規の調査と遵法性チェックを行う。 4. 目的・目標一覧表及び環境目標計画表の作成。 5. 複数部門に関わる緊急事態の対応手順書の作成・訓練・記録。 6. 緊急事態訓練の指導、対応、実施。 7. 活動全般の推進。
推進責任者 (部門長)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部門の目標計画の実施、活動状況の確認。 2. 自部門に関わる緊急事態の対応手順書の作成及び運用管理。 3. 部門に関連する問題点の摘出、是正・予防処置。 4. 運用管理に関する部下の指導。 5. 実施状況の記録
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境方針の理解。環境活動に取組の重要性・必要性を自覚する。 2. ルールを遵守し、自主的・積極的に環境活動に参加する。

中長期の環境目標

(1) 主な環境負荷実績

	2021年度 (50期) 2021.7~2022.6	2022年度 (51期) 2022.7~2023.6	2023年度 (52期) 2023.7~2024.6
二酸化炭素排出量 kgCO ₂	492,550	485,641	458,807
電力使用量 Mwh	878.4	971.2	916.1
灯油 kℓ	12.9	16.2	16.4
ガソリン kℓ	0.91	0.87	0.74
水 m ³	1,600	1,840	1,724

※電力CO₂換算係数は、「F-Power」排出係数0.502kgCO₂/kwh

(2) 中長期計画

※1 基準年は52期（2023年7月～2024年6月まで）の12カ月間の実績で作成する。EA21の活動は事業期間に連動させます。

※2 CO₂排出量は電力以外にも灯油、ガソリン、LPガスの消費量も含んで算出しています。

※3 電力のCO₂排出係数は「F-Power」様の0.502kgCO₂/kwhにて算定しています。

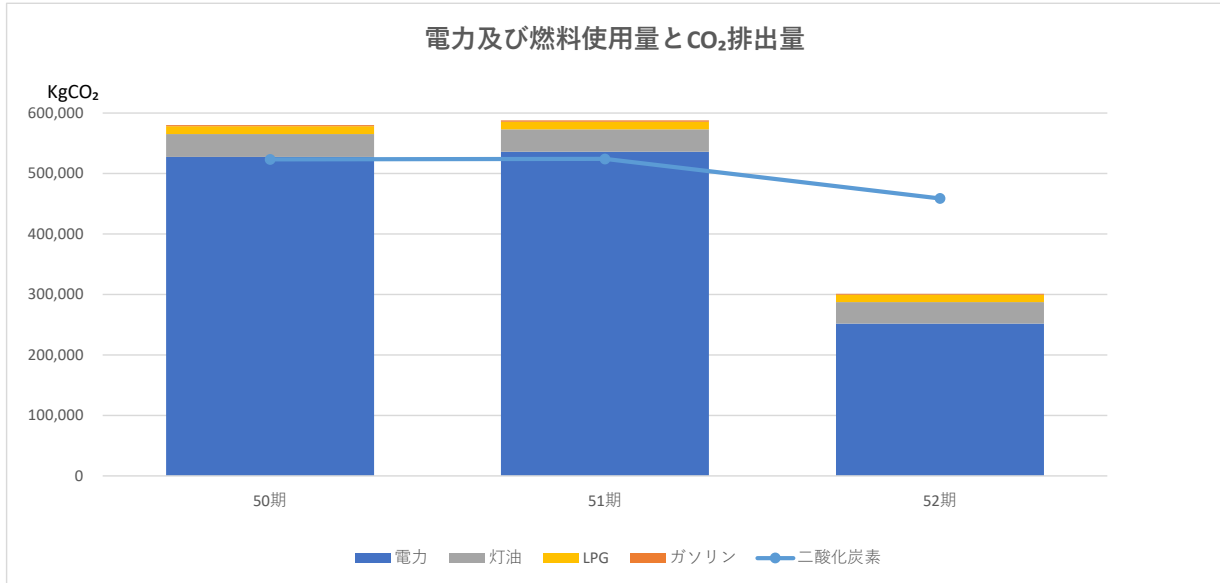
基準年（52期）に対する2026年度（55期）までの目標				
目標項目	基準年	中長期目標（目標値）		
	2023年度（52期） 2023年7月～2024年6月	2024年度（53期） 2024年7月～2025年6月	2025年度（54期） 2025年7月～2026年6月	2026年度（55期） 2026年7月～2027年6月
二酸化炭素 排出量削減	458,807kgCO ₂	0.5%削減 456,513kgCO ₂	1.0%削減 454,219kgCO ₂	1.5%削減 451,925kgCO ₂
電力使用量 の削減	76,348kwh/月	0.5%削減 75,966kwh	1.0%削減 75,585kwh	1.5%削減 75,203kwh
社内Ag在庫 の削減	1,200kg/月	50kg削減 1,150kg/月	100kg削減 1,100kg/月	150kg削減 1,050kg/月
水使用量 の削減	143.7m ³ /月	0.5%削減 143.0m ³	1.0%削減 142.26m ³	1.5%削減 141.5m ³
化学物質 薬品の適正管理 及び使用量削減	化学物質、薬品の 適正管理、徹底 化学物質、薬品の 削減	化学物質、薬品の 適正管理、徹底 化学物質、薬品の 削減	化学物質、薬品の 適正管理、徹底 化学物質、薬品の 削減	化学物質、薬品の 適正管理、徹底 化学物質、薬品の 削減

※電力CO₂換算係数は、「F-Power」排出係数0.502kgCO₂/kwh

2024年（53期）活動取り組み結果と自己評価

目標項目	基準年	目標値	実績	目標値からの実績値増減	基準年からの達成率増減
	2023年度（52期） 2023年7月～2024年6月	2024年度（53期） 2024年7月～2025年6月	2024年度（53期） 2024年7月～2025年6月		
二酸化炭素排出量削減	458,807kgCO ₂	0.5%削減 (456,513kgCO ₂)	446,778kgCO ₂	-9,735kgCO ₂	2.7%減
電力使用量の削減	76,348kwh/月	0.5%削減 (75,966kwh/月)	75,260Kwh/月	-706Kwh/月	1.4%減
社内Ag在庫の削減	1,200kg/月	50kg削減 (1,150kg/月)	1,265Kg/月	+115Kg/月	65Kg増
水使用量の削減	143.7m ³ /月	0.5%削減 (143.0m ³ /月)	155.8m ³ /月	+12.8m ³ /月	8.4%増
化学物質薬品の適正管理及び使用量削減	化学物質、薬品の適正管理、徹底 化学物質、薬品の削減	化学物質、薬品の適正管理、徹底 化学物質、薬品の削減	化学物質、薬品の適正管理、徹底 化学物質、薬品の削減	継続	継続

※52期電力CO₂換算係数は、「アスエネ」排出係数0.441kgCO₂/kwh



取組結果と自己評価

- ☆ 基準年の52期（2023年）に比べ53期のCO₂排出量、電気使用量は削減されています。
「太陽光発電設備」を導入したこともあり、目標値の見直しを行いました、削減目標を上回ることが出来ました。
- ☆ 水の使用量については53期は目標を達成する事が出来ませんでした。
休日設備停止時もカウンターが動いており、工場内の配管水漏れが発生していると考えます。
53期、54期中に水道配管の水漏れ箇所選定、修繕を実施致します。

今回の改善を生かし来期に向けより一層の効果が出るよう啓発活動を行ってまいります。

2024年度(53期)環境活動計画

※環境目標実績計画書は、基準年（52期）を参照に作成。

※2024年度（53期）の活動期間は2024年7月～2025年6月迄とする

※環境管理責任者はコメントを3ヶ月毎に記入する。

※是正報告書の発行は3ヶ月期間に「×が3つ」ついた時点で作成する。

	具体的施策L2		目標値
	項目	現状/目標	
目 標	二酸化炭素(電力+燃料) 「kg-CO ₂ 」 (kg-CO ₂ /月平均)	458,807kg-CO ² (38,234kg-CO ² /月) ↓ 456,513kgCO ₂ (38,043kg-CO ² /月)	0.5%削減
	電力使用量 「kwh/月平均」	76,350kwh ↓ 75,970kwh	0.5%削減
	社内在庫削減 「月末Ag在庫重量 kg/月平均」	1,200kg ↓ 1,150kg	50kg削減
	水使用量 「m ³ /月平均」	143.7m ³ ↓ 143.0m ³	0.5%削減
	グリーン購入 他品種の試作品製造	グリーン購入 90 % 他品種の試作品製造	グリーン購入 90 % 他品種の試作品製造
	化学物質、薬品の適正 管理及び使用量削減	化学物質、薬品の適正管理の徹 底 化学物質薬品削減	化学物質、薬品の適正管 理の徹底 化学物質薬品削減

※ CO²排出係数は「グリムスパワー 0.486」にて算定

今後の取り組み



新人教育、多能工化、世代交代に向け技術継承をスムーズに行うために、各部署でマニュアル作成を進めます。



機械のメンテナンスや修理の際、従来品に拘らずよりコストパフォーマンスに優れた物や、より精度や寿命などを考慮した部品を考案、購入することで製品の品質向上及び歩留まり向上を進めます。



普段の生活から意識改善を図るため、工場内だけでなく各家庭からもペットボトルのキャップを回収することでSDGsへの興味を持ってもらい社会貢献と持続可能な社会への意識を高めます。



**NPO法人
エコキャップ推進協会**

環境関連法規等の順守チェックリスト

順守チェックリスト更新: 毎年定期的な遵守評価を実施する際に制定、改正の確認を行い

制定、改正の確認を行い変更があれば更新する。

遵守チェック項目	遵守:○ 問題継続中:ー
----------	--------------

法令等の名称	該当施設・項目	遵守の確認	遵守チェック
水質汚濁防止法(H28.5.20)	65-酸表面処理施設	S47届け出済確認	○
	〃	S53届け出済確認	○
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	〃	公害防止統括者選任済	○
	〃 有害物質(Cd)有、排水 1,000m ³ /日未満にて 第2種公害防止管理者	水質公害防止管理者選任済	○
	〃	水質公害防止管理者 選任予定	ー
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	事務所エアコン2台	第1種特定製品簡易点検確認	○
資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	事業活動	エコアクション21活動による	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	事業活動	エコアクション21活動による	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	〃	エコアクション21活動による	○
労働安全衛生法(R6.4.1改訂)	工場内	化学物質管理者の選任	○
		保護具使用直用管理者の選任	○
毒物及び劇物取締法	酸アルカリ表面処理	保管庫施錠確認確認	○
		表示確認確認	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び改善の促進に関する法律(PRTR法)	カドミウム、銀	排出量届け出済	○
特定化学物質障害予防規則(H29.2.16)	銀ロウ製造	設置確認	○
	〃	バグフィルター設置	○
	〃	選任表示確認	○
	〃	2019年6月、2019年12月実施	○
公共用水域の水質汚濁の防止	工場排水	水濁法による水質管理	○
工場敷地内の土壌または地下水の汚染状態を測定、結果の記録	観測用井戸設置、分析	年1回の分析/記録の保管	○
奥州・金ヶ崎行政事務組合 火災予防条例(H20.4.1)	焼鈍、ガス炉	届け出確認	○
	灯油、廃油等保管	少量危険物届出確認	○
金ヶ崎町下水道条例(H28.12.15)	下水道	届け出確認	○

※関係当局より違反等の指摘や近隣住民からの苦情等はありませんでした。

[保管期間3年]

その他の活動

「箱型電気加熱炉」の更新

省エネ補助金を利用して設備投資を行いました。

設備更新の目的、電力削減効果、生産効率向上など全社員を対象に行いました。



2025.1.30設置

EA21勉強会

2025年6月26日にEA21の活動をより深めていくために、財務報告などを通し今後の課題について話し合いました。



2025.6.26

P13

代表者による全体の評価

管理責任者の報告と評価						代表者のコメント
[目標・環境活動計画と達成状況]						
①環境目標達成率						①環境目標達成率 ☆CO ₂ 排出削減には電力使用量の削減は欠かせません。昨年度は太陽光設備、今年度は箱型大気炉へ投資を行っています。新規設備を用いて作業の効率化を図り、今後も使用電力削減の施策を実行してください。 ☆世の中の変化に伴い受発注も変わってきました。Ag在庫削減は厳しくなるとは思いますが、施策を進めてください。
※合否判定※ 105%◎ 104~95%○ 94%以下×						
目標項目	目標	施策数	実績	達成率	判定	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	456,513	6	446,778	102.2%	○	
電力使用量(kwh/月)	76,966	5	75,260	102.3%	○	
在庫Ag重量削減(kg)	1,150	3	1,265	90.9%	×	
水使用量(m ³)/月	143.0	3	155.8	91.8%	×	
化学薬品の管理	管理徹底	管理徹底	管理徹底	100%	◎	
②その他環境施策活動						②その他環境施策活動評価 ☆昨今の貴金属価格上昇の影響もあり、加工屑の細分化は大きな効果が出ました。貴金属の取り扱いや回収方法など継続して施策を進めてください。 ☆歩留まり向上については非常に大きなテーマです。品質向上と効率化を図ってください。 ☆設備撤去を行いまして省スペース化を図りました。新規事業、販路開拓を進めてください。
②その他環境施策活動評価						
施策テーマ	主な施策					
製品歩留まり向上	加工機械の整備、清掃工程などの見直し 新しい治具の設計					
可燃ごみ不燃ごみ排出削減	ごみの分別を細分化し 再利用又は売却できる物を増やした					
その他(設備廃棄、清掃)	不要な設備を処分し スペースの確保を行った					
新製品の試作	お客様の要望にお応えし 積極的に試作を行った					
グリーン購入	物品購入の際、グリーン購入を意識して購入する					
③周囲の変化状況						③周囲の変化状況 ☆周囲からの苦情等はないようです 法令については定期的に見直しを行い適切に処置をしてください。
①外部コミュニケーション						
・2025年6月30日現在、過去5年間に於いて苦情は一切ありません。 ・地域の学生の大会遠征費用を募金したことで、大会の結果報告と感謝の言葉を頂いた						
②環境関連法規制等の動向他						
・2024年4月1日より「労働安全衛生法」が改訂されました。 「化学物質管理者」「保護具着用管理者」講習会を受講、管理者の選任を行いました。 継続して必要資格は受講して法令を遵守します。						
代表者 総合評価						
・弊社では電力使用量が多く、二酸化炭素の排出量の90%以上が電力使用量によるものです。 ・昨年導入しました太陽光発電設備の導入や施策により「電力使用量」、「二酸化炭素の排出量」を大幅に削減することが出来ました。 ・新規作成した中長期目標は数値的にはかなり厳しいものですが、施策目標の作成、計画により改善を進めたことで高い目標を達成することが出来ています。 ・今後も継続して新たな課題に取り組んでほしいと考えます。						